

令和3年12月31日

統計トピックスNo. 130

とら 「寅年生まれ」と「新成人」の人口

— 令和4年 新年にちなんで —

(「人口推計」から)

とら 寅年生まれは1025万人

新成人は120万人

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、令和4年1月1日現在における
とら
「寅年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

要 約

I とら 寅年生まれの人口は1025万人

- 男性は499万人、女性は526万人
- 平成22年生まれは最も多い昭和49年生まれの約半数
- 十二支の中では9番目に多い

II 新成人人口は120万人

- 新成人人口（平成13年生まれ）は120万人で前年比4万人減
男性は61万人、女性は59万人
- 新成人人口は過去最低を更新

I 寅^{とら}年生まれの人口は1025万人

男性は499万人、女性は526万人

令和4年1月1日現在における寅^{とら}年生まれの人口は1025万人で、総人口1億2545万人（男性6099万人、女性6447万人）に占める割合は8.2%となっています。

男女別にみると、男性は499万人、女性は526万人で、女性が男性より27万人多くなっています。（表1、表2）

平成22年生まれは最も多い昭和49年生まれの約半数

寅^{とら}年生まれの人口を出生年別にみると、昭和49年生まれ（令和4年に48歳になる人）が198万人と最も多く、次いで昭和25年生まれ（同72歳になる人）が185万人、昭和37年生まれ（同60歳になる人）が153万人などとなっています。最も若い平成22年生まれ（同12歳になる人）は106万人で、第2次ベビーブーム（昭和46年～49年）世代である昭和49年生まれの約半数となっています。（図2、表2）

十二支の中では9番目に多い

総人口を十二支別にみると、丑^{うし}年生まれが1139万人で最も多く、子^ね年（1126万人）、亥^い年（1111万人）と続いており、寅^{とら}年生まれは9番目となっています。（表1、図1）

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)	人口 順位
総数	12545	100.0	—
子(ね)	1126	9.0	2
丑(うし)	1139	9.1	1
寅(とら)	1025	8.2	9
卯(う)	1010	8.0	10
辰(たつ)	1028	8.2	8
巳(み)	1034	8.2	5
午(うま)	981	7.8	12
未(ひつじ)	1039	8.3	4
申(さる)	1029	8.2	7
酉(とり)	991	7.9	11
戌(いぬ)	1033	8.2	6
亥(い)	1111	8.9	3

図1 十二支別人口

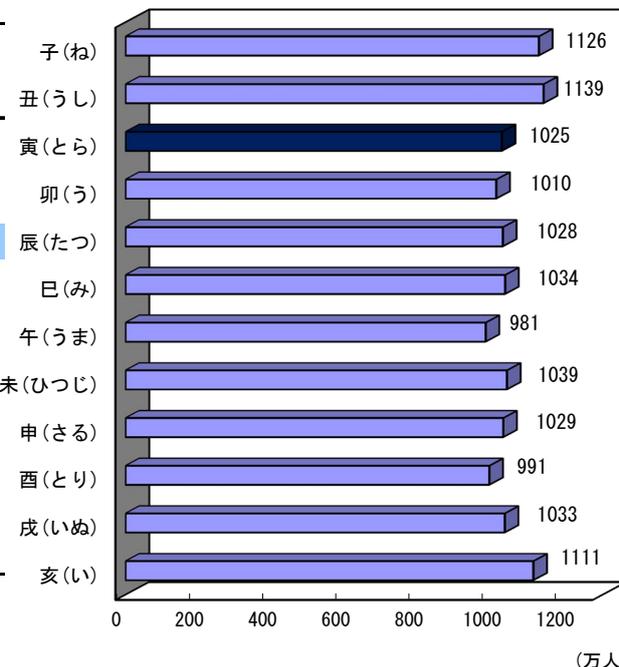


図2 男女、出生年別^{とら}実年生まれの人口

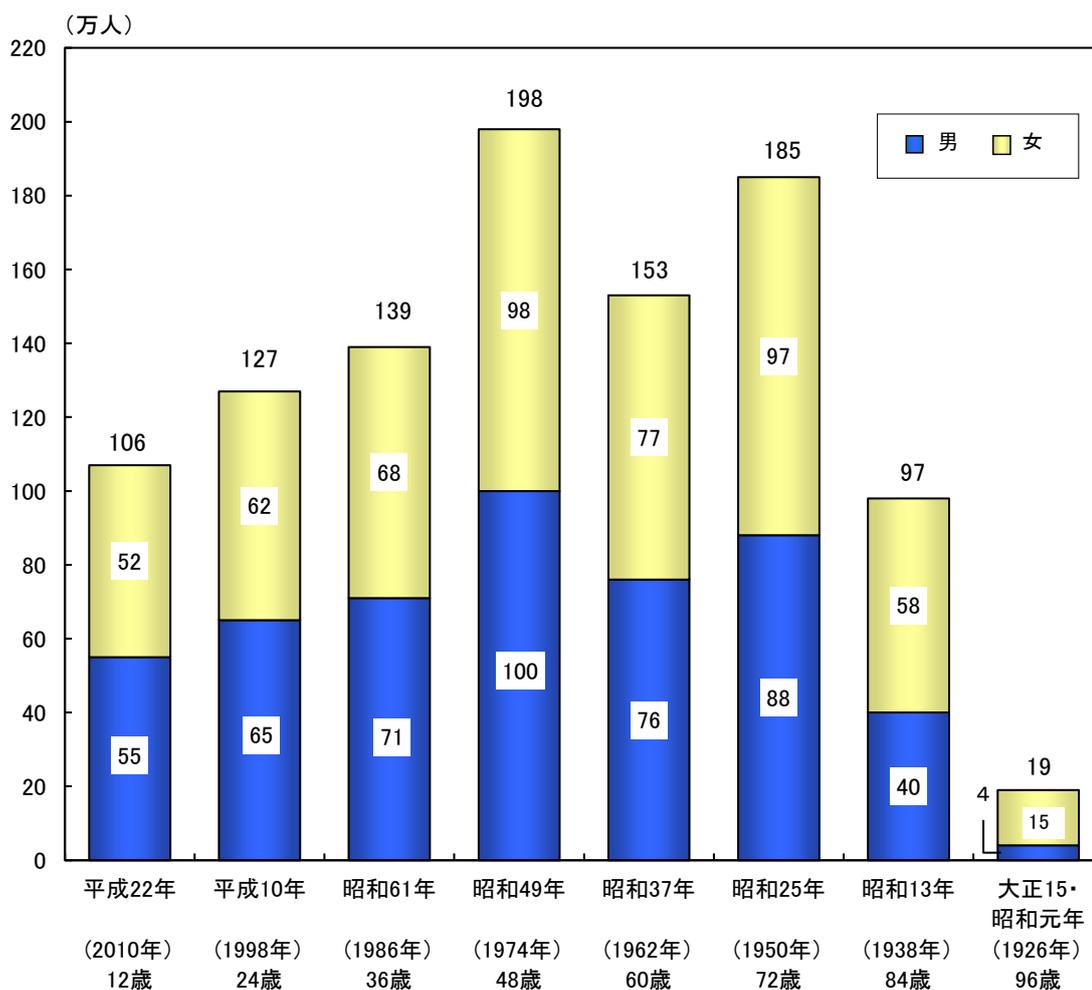


表2 男女、出生年別^{とら}実年生まれの人口

生まれた年・年齢			男女計 (万人)	総数に占める割合 (%)	男 (万人)	総数に占める割合 (%)	女 (万人)	総数に占める割合 (%)
総	数	—	1025	100.0	499	100.0	526	100.0
	平成22年	(2010年) 12歳	106	10.4	55	10.9	52	9.8
	平成10年	(1998年) 24歳	127	12.4	65	13.0	62	11.8
	昭和61年	(1986年) 36歳	139	13.6	71	14.2	68	13.0
	昭和49年	(1974年) 48歳	198	19.3	100	20.1	98	18.6
	昭和37年	(1962年) 60歳	153	14.9	76	15.3	77	14.6
	昭和25年	(1950年) 72歳	185	18.0	88	17.7	97	18.4
	昭和13年	(1938年) 84歳	97	9.5	40	7.9	58	11.0
	大正15・昭和元年	(1926年) 96歳	19	1.9	4	0.9	15	2.8

- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- * 図及び表中の年齢は、令和4年に誕生日を迎えた時の年齢
- * 十二支別人口は、12月末までのデータにより推計した1月1日現在人口のため、令和4年生まれの^{とら}実年の人には含まれない。
- * 昭和元年は1926年12月25日以降

II 新成人人口は120万人

新成人人口(平成13年生まれ)は120万人で前年比4万人減
男性は61万人、女性は59万人

この1年間(令和3年1月～令和3年12月)に、新たに成人に達した人口(令和4年1月1日現在20歳の人口)は120万人で、前年と比べると4万人の減少となっています。

男女別にみると、男性は61万人、女性は59万人で、男性が女性より2万人多く、女性100人に対する男性の数(人口性比)は104.6となっています。(表3、図3)

新成人人口は過去最低を更新

新成人人口について、この推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベビーブーム(昭和22年～24年)世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人(総人口に占める割合は2.40%)で最も多くなった後、減少に転じ、53年には152万人となりました。その後、昭和50年代後半から再び増加傾向を続け、第2次ベビーブーム(昭和46年～49年)世代の人が成人に達した時に200万人台(最多は平成6年207万人)となった後、平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向を続けています。

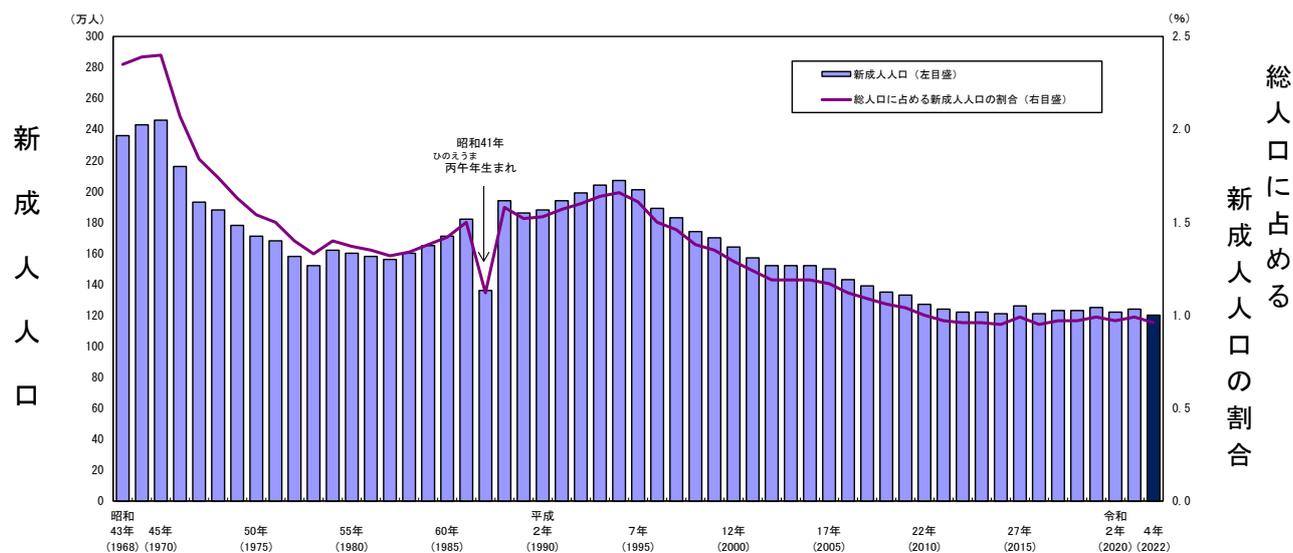
表3 新成人人口の推移

年次(西暦)	新成人人口 (万人)			総人口に 占める 割合(%)	人口性比	年次(西暦)	新成人人口 (万人)			総人口に 占める 割合(%)	人口性比
	男女計	男	女				男女計	男	女		
昭和43年(1968)	236	119	117	2.35	101.6	平成8年(1996)	189	97	92	1.50	105.3
44(1969)	243	123	121	2.39	101.9	9(1997)	183	94	89	1.46	104.7
45(1970)	246	124	123	2.40	101.0	10(1998)	174	89	85	1.38	105.0
46(1971)	216	110	106	2.07	103.9	11(1999)	170	87	83	1.35	105.2
47(1972)	193	98	96	1.84	102.0	12(2000)	164	84	80	1.29	105.4
48(1973)	188	94	94	1.74	100.8	13(2001)	157	81	77	1.24	105.3
49(1974)	178	89	89	1.63	100.6	14(2002)	152	78	74	1.19	104.7
50(1975)	171	87	84	1.54	103.6	15(2003)	152	77	74	1.19	104.7
51(1976)	168	86	83	1.50	103.7	16(2004)	152	78	74	1.19	104.7
52(1977)	158	81	77	1.40	104.5	17(2005)	150	77	73	1.17	104.9
53(1978)	152	77	75	1.33	102.8	18(2006)	143	73	70	1.12	105.0
54(1979)	162	82	80	1.40	103.3	19(2007)	139	72	67	1.09	106.4
55(1980)	160	81	78	1.37	103.9	20(2008)	135	69	66	1.06	105.2
56(1981)	158	81	78	1.35	104.3	21(2009)	133	68	65	1.04	104.9
57(1982)	156	80	76	1.32	104.5	22(2010)	127	65	62	1.00	104.7
58(1983)	160	81	78	1.34	104.2	23(2011)	124	63	61	0.97	104.2
59(1984)	165	84	81	1.38	104.3	24(2012)	122	62	60	0.96	104.9
60(1985)	171	87	83	1.42	104.8	25(2013)	122	63	59	0.96	105.4
61(1986)	182	93	89	1.50	104.2	26(2014)	121	62	59	0.95	105.1
62(1987)	136	70	66	1.12	105.7	27(2015)	126	65	61	0.99	105.5
63(1988)	194	99	95	1.58	103.9	28(2016)	121	62	59	0.95	105.1
64・(1989)						29(2017)	123	63	60	0.97	105.8
平成元年	186	96	91	1.52	105.3	30(2018)	123	63	60	0.97	105.5
2(1990)	188	97	92	1.53	105.5	31・(2019)	125	64	61	0.99	105.5
3(1991)	194	99	94	1.57	105.4	令和元年					
4(1992)	199	101	97	1.60	104.2	2(2020)	122	63	59	0.97	105.8
5(1993)	204	104	99	1.64	105.0	3(2021)	124	64	60	0.99	105.6
6(1994)	207	106	101	1.66	105.0	4(2022)	120	61	59	0.96	104.6
7(1995)	201	103	98	1.61	105.6						

令和4年の新成人人口は120万人、総人口に占める割合は0.96%で、前年と比べ4万人減少、0.03ポイント低下と、共に2年ぶりの減少・低下となり、人口については過去最低を更新しました。また、総人口に占める割合は12年連続で1%を下回っています。

(表3, 図3)

図3 新成人人口及び総人口に占める割合の推移



- * 「人口推計」(各年1月1日現在)
- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。

..... 利用と問合せについて

- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>



- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi1300.html>
- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。
(例) 「人口推計」(総務省統計局)

【問合せ先】


総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係
〒162-8668 東京都新宿区若松町 19 番 1 号
TEL : 03 (5273) 1009
Eメール : c-suikei@soumu. go. jp